

1年間の流れワークシート

()月
【 】

()月
【 】

()月
【 】

()月
【 】

ステージ (3) キーワード

- ・ **資質・能力のつながり**について
- ・ **年間指導計画**を操作しながら
- ・ **担当教科や他教科の先生と連携**して

()月
【 】

()月
【 】

()月
【 】

()月
【 】

1年間の流れワークシート（例）

(2～3) 月
【 A⑦ 】
・「総合」や国語の年間指導計画等に改善について加筆修正し、事後や次年度に生かせるようにする。

(3～4) 月
【 P① 】
・『学習指導要領解説 国語編』や教科書を読んだりしながら、国語では生徒にどんな力を付ければよいのかを考える。
・年間指導計画などをみて、年間の単元の流れや各単元でねらうことについて見通しをもつ。

各教科等で言語活動の充実を図ることが求められていますが、特に、言葉を直接の学習対象とする国語科の役割は大きいです。従って、言語活動という視点から見れば、国語科と他教科の学習はつなげやすいです。

「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」や「学習の基盤となる資質・能力（言語能力・情報活用能力・問題発見・活用能力等）」について、複数の教員で話し合うと、各教科間で共通する学習や関連できる学習が見つかります。

一人で進めるよりも複数の教員で話し合いながら進めると、各教科等の付けたい力や学び方の関連が共有されるとともに明確になります。振り返りも複数の教員ですと、多様な視点からより多くの課題の発

(1～2) 月
【 C⑥ 】
・「総合」を先生方と振り返るときに、教科等横断してみたことへの課題や成果を各担当教科の視点で話し合う。

ステージ (3) キーワード

- ・ **資質・能力のつながり** について
- ・ **年間指導計画を操作** しながら
- ・ **担当教科や他教科の先生と連携** して

(4～5) 月
【 P② 】
・他教科の先生と話したり、授業の様子を見たりしながら、他教科の付けたい力や年間の単元（題材）の流れ、各単元でどのような学習をしているのかを知る。

(4～5) 月
【 P③ 】
・「総合」で、国語で学んだことを活用できるところはないか？国語の授業で、「総合」で学んだことを活用できるところはないか？を考える。
・学年部の先生方と「総合」について話し合う中で、「この活動は自分の教科からみると〇〇の学習（付けたい力）とつなげられそう。」など意見を出し合う。（例えば「グループ発表の準備は、国語でプレゼンの学習があるから一緒にできそう。」「社会科での地域の様子などに関わる部分があるな。」「この調査の集計は数学で学んだことが使えそう。」）
・「総合」での思考ツールや学び方（グループ学習・学校図書館活用等）を国語で活

「この活動は、担当教科で育成する力とどうつながっているのか？」を意識してみましょう。

「総合的な学習の時間」は教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習です。「総合的な学習の時間」と各教科との関わりを意識すると、教科等横断的な学びが進めやすいです。

(5～12) 月
【 D⑤ 】
・授業を実践する。生徒自らが、教科等横断的に活動できるよう手立てや声かけを考える。
・CやAがしやすいように、生徒の考えの変容が分かるものを利用したり、複数の教員で授業を見合ったりする。

(4～5) 月
【 P④ 】
・「総合」と国語の年間指導計画を並べ、それぞれの学習で活用できそうな部分を探して、どのような授業にしていこうかと単元構成や授業

年間指導計画等が目前にあると、書き込んだり、加筆修正したりできます。複数教科を一覧できるようにしてみると、各教科間で共通する学習や関連できる学習が見つかります。しかし、あくまで関連付けや活用できるか等を意識することが大切です。単元配列を入れ替えなければならないことはあ